

# 岩手県山田町大島のクモ

渡辺 修二・高橋 雅雄

Spiders collected in Oshima Island, Yamada Town, Iwate Prefecture

Shuji WATANABE and Masao TAKAHASHI

岩手県立博物館 020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34 Iwate Prefectural Museum, Ueda Matsuyashiki 34, Morioka City, 020-0102, Japan.

## Abstract

On July 15, 2021, nine species of spiders from seven families were collected on Oshima Island, Yamada Town, Iwate Prefecture, including the first record of *Pseudeuophrys erratica* in Iwate Prefecture.

## はじめに

山田町の大島（通称「オランダ島」）は山田湾にある無人島で、夏季には海水浴場として利用されている。陸地から約1km離れており、外周約900m、面積26,960m<sup>2</sup>である（山田町観光協会 2021）。大島におけるクモの記録は1966年、片岡佐太郎による1例だけである（渡辺 2021）。2021年7月15日に、いわてレッドデータブック改訂を目的とする生物調査を実施した際に採集したクモを報告する。

## 方法

2021年7月15日に、岩手県山田町大島で2時間程度、目視確認したクモの見つけ取り（ルッキング）、及び島の上部の森林では林床に堆積したリターをふるいにかけて（シフティング）採集を行った。採集した標本は約70%のエタノールを入れたスクリーン管に入れて保管した。標本の同定は小野（2009）を参照し、標本を双眼実体顕微鏡（Nikon SMZ745）で検鏡して、オスは触肢、メスは外雌器の構造をもとに同定した。幼体は、形態および斑紋をもとに判別できるもの限り同定した。

## 結果

島全体で主に見られた造網性クモはヤマトゴミグモ

であった。崖状になっている島の下部ではクモはあまり多くなかったが、ヤマトゴミグモ、オオヒメグモ、オオツリガネヒメグモが見られた他、少数のヤチグモ科幼体（種不明）、ヤチビコモリグモ、イモコモリグモが見られた。島の上部の森林の地表やリター層では主にチビコモリグモとシボグモが採集され、島の下部より徘徊性クモの個体数は多かった。

今回の調査で確認された種は、以下の標本リストのとおり、岩手県で初記録となるヤガタハエトリ *Pseudeuophrys erratica* を含む7科9種であった。

## 標本リスト

標本番号は、連番の場合は番号をハイフンで一部省略して表記した。IPMM280388-9は高橋、他は渡辺が採集した。

### ジグモ科 Atypidae

ジグモ *Atypus karschi* Dönitz 1887

オス成体 IPMM245460

### ヒメグモ科 Theridiidae

オオツリガネヒメグモ *Parasteatoda tabulata* (Levi 1980)

メス成体 IPMM280405-6, 280408

オオヒメグモ *Parasteatoda tepidariorum* (C. L. Koch 1841)

メス成体 IPMM280404

コガネグモ科 Araneidae

ヤマトゴミグモ *Cyclosa japonica* Bösenberg & Strand 1906

メス成体 IPMM280387-9

オス成体 IPMM280390

幼体 IPMM280391-2

アシナガグモ科 Tetragnathidae

コシロカネグモ *Leucauge subblanda* Bösenberg & Strand 1906

メス成体 IPMM280410

オス成体 IPMM280409

シボグモ科 Ctenidae

シボグモ *Anahita fauna* Karsch 1879

幼体 IPMM280411-3

コモリグモ科 Lycosidae

イモコモリグモ *Piratula piratoides* (Bösenberg & Strand 1906)

メス成体 IPMM280401

チビコモリグモ *Piratula procurva* (Bösenberg & Strand 1906)

メス成体 IPMM280398-400, 280402

オス成体 IPMM280393-7

ハエトリグモ科

ヤガタハエトリ *Pseudeuophrys erratica* (Walckenaer 1826)

メス成体 IPMM280403

その他、ヤチグモ科、サラグモ科等の幼体を複数個体採集したが、種を特定できなかった。

## 考察

岩手県の島嶼におけるクモの調査はほとんど行われていない。1960～1970年代には、片岡により3ヶ所の島で数回クモの採集が行われており、宮古市の日出島で8科12種、山田町の大島で1科1種、山田町の船越大島で9科15種が確認されている(渡辺 2021)。調査した季節が異なるため単純な比較はできないが、各島で確認された種にはほとんど共通性がなく、今回の結果との比較でもイモコモリグモが日出島で、チビコモリグモが船越大島で採集されている以外は共通する種がなかった。今後も機会があれば各島で調査を実施し、クモ相を比較したい。

今回の調査でヤガタハエトリを岩手県初記録として採集したが、本種は北海道から本州の西日本側まで分布しており(新海ほか 2022)、おそらく県内各地にも分布すると推測される。本種は斑紋がイワテハエトリに酷似しており、これまでの調査で見落とししていた可能性がある。本県におけるクモ相調査の一層の進展が必要である。

## 謝辞

岩手医科大学教養教育センター長・生物学科教授の松政正俊博士が企画した調査に同行することで調査を実施することができました。岩手県環境生活部自然保護課には、調査にあたり便宜を図っていただきました。心より感謝申し上げます。

## 引用文献

- 小野展嗣(編著)(2009)日本産クモ類。東海大学出版会、秦野市。
- 新海明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生(2022)CD 日本のクモ ver. 2022。
- 渡辺修二(2021)岩手県立博物館調査研究報告書 35 岩手県立博物館に寄贈された片岡佐太郎氏クモ類調査記録。岩手県立博物館、盛岡市。
- 山田町観光協会(2021)オランダ島。東北・岩手「山田町」の観光情報サイト、  
<https://www.yamada-kankou.jp/spots/orandajima/>(参照 2023/01/06)

## 要 旨

2021年7月15日に、岩手県山田町大島で、岩手県初記録となるヤガタハエトリ *Pseudeuophrys erratica* を含む7科9種のクモを採集した。

**キーワード**：クモ相，調査記録，山田町，大島